

R2年. 12. 1 発行

寒さが少しずつ厳しくなり、冬の訪れを感じられる頃となりました。先月は、落ち葉や木の実などを探したり、遠くの公園へ遊びに行くなど戸外での活動を多く取り入れ、その中で自分で靴・靴下を履いてみるができるよう時間を設けました。最初は、自分では行わず保育者に「やって」「できない」と訴える姿がありました。そこで保育者が一つ一つやり方を伝えながら一緒に行くことで靴・靴下の履き方を知り、少しずつ自分で出来るようになりました。「できたよ」「みてみて」と自分で出来たことを喜んでるりすぐみさん。子どもたちの喜びや出来たことを共感し認めていく中で“もっとやってみたい”“やりたい”という意欲につなげていきたいと思えます。

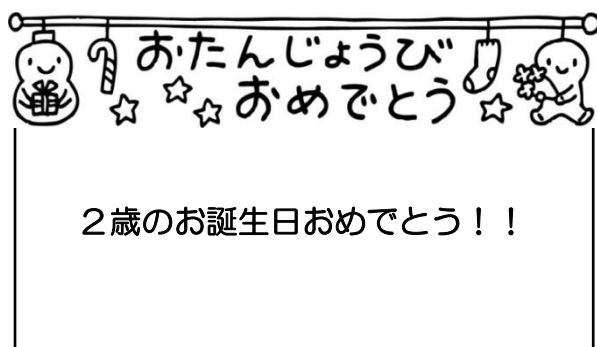
寒い日が増え、散歩の時など気候に合わせ防寒着の着用をしていきます。フードのあるものは、遊具に引っかかる恐れもあるため、フードがついていないものをご用意ください。



〈今月のねらい〉・連絡帳・コップを自分で出して、所定の場所に置く。

・暖かい日は戸外に出て体を動かす。

〈今月の活動〉散歩（石川橋公園・徳丸公園など）・指先遊び（洗濯バサミ・ひも通し）・体操・製作
集団遊び（しっぽとり・だるまさんの一日）



「いやだ!」「いや!」

ここ最近子どもたちから「いやだ!」「いや!」という言葉聞くことが多くなりました。自分のやりたい気持ちが芽生えてきたり大人の反応を試したりする時期になってきました。忙しいお母さんたちにとって毎日のいやいやは大変ですよね。しかし、時間があるときにはじっくりと子どもと大人がやりとりをしたり、自分でやりたい気持ちを育てるチャンスです。

子どもたちの育ちを一緒に見守っていきましょう。

今月の歌♪

- ・赤鼻のトナカイ
- ・あわてんぼうのサンタクロース